



平成 22 年 4 月 22 日

各 位

会 社 名 株式会社 札幌北洋ホールディングス
(コード番号 8328 東証第 1 部・札証)

平成 22 年 3 月期通期の連結業績予想の修正
と業績の概要 (速報値) に関するお知らせ

平成 21 年 11 月 13 日に公表いたしました平成 22 年 3 月期通期 (平成 21 年 4 月 1 日 ~ 平成 22 年 3 月 31 日) の業績予想について、下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせします。
合わせて、平成 22 年 3 月期通期業績の概要 (現時点における速報値) についてお知らせします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 平成 22 年 3 月期通期 (平成 21 年 4 月 1 日 ~ 平成 22 年 3 月 31 日)

(単位: 億円)

	経常収益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,715	235	195	44 円 44 銭
今回修正予想 (B)	1,795	330	310	73 円 27 銭
増減額 (B) (A)	80	95	115	
増減率 (%)	4.6	40.4	58.9	
(ご参考)平成 21 年 3 月期	1,863	2,569	2,143	537 円 47 銭

(2) 業績予想の修正理由

政策効果などにより道内景気に持ち直しの動きが広がる中、企業の業績悪化や倒産が減少するなど、信用コストが前回発表予想を大きく下回る見込みとなったこと等から、平成 22 年 3 月期通期の業績予想を上記のとおり上方修正いたします。

2. 平成 22 年 3 月期通期業績の概要 (速報値)

(1) 連結の損益状況

- ・連結コア粗利益は、資金利益や役務取引等利益が前年比微減の見通しである一方で、その他業務利益が外債運用に係るヘッジコストの減少等により前年比増加の見通しであることから、1,220 億円と前年比 13 億円増加の見通し。
- ・連結コア業務純益は、経費削減努力等により、460 億円と前年比 46 億円増加の見通し。

- ・ 経常利益は、有価証券等関係損益の増加（前年は、保守的な減損処理を実施）と信用コストの減少により、330 億円と前年比 2,899 億円増加の見通し。
- ・ これらの結果、当期純利益は、310 億円と前年比 2,453 億円増加の見通し。

[札幌北洋グループ連結]

(単位：億円)

	平成 21 年 3 月期実績	平成 22 年 3 月期			
		前回発表 予想	速報値	前年比 -	前回 予想比 -
経常収益	1,863	1,715	1,795	68	80
連結コア粗利益	1,207	1,190	1,220	13	30
経費(除く臨時処理分)	793	765	760	33	5
連結コア業務純益	414	425	460	46	35
信用コスト	541	215	145	396	70
有価証券等関係損益	2,433	17	15	2,448	2
経常利益	2,569	235	330	2,899	95
当期純利益	2,143	195	310	2,453	115

連結コア粗利益 = 資金利益 + 役員取引等利益 + その他業務利益 - 国債等債券関係損益

連結コア業務純益 = 連結コア粗利益 - 経費（除く臨時処理分）

信用コスト = 貸倒償却引当費用 = 一般貸倒引当金繰入額 + 貸倒損失額

有価証券等関係損益 = 国債等債券関係損益 + 株式等関係損益 + 金銭の信託運用損益

[ご参考：北洋銀行]

(単位：億円)

	平成 21 年 3 月期実績	平成 22 年 3 月期			
		前回発表 予想	速報値	前年比 -	前回 予想比 -
経常収益	1,586	1,392	1,472	114	80
コア粗利益	1,151	1,128	1,157	6	29
経費(除く臨時処理分)	774	740	740	34	0
コア業務純益	376	388	416	40	28
信用コスト	510	184	99	411	85
有価証券等関係損益	2,429	17	13	2,442	4
経常利益	2,568	230	322	2,890	92
当期純利益	2,141	190	302	2,443	112

(2) 主要勘定残高(銀行部門)

- ・ 資金量（未残）は、個人、法人、公金など全ての主体で増加し、68,331 億円と前年比 2,680 億円増加（年率 4.0%）の見通し。
- ・ 預かり資産（未残）は、個人年金保険の増加により、6,918 億円と前年比 284 億円増加（年率 4.2%）の見通し。

- ・貸出金（末残）も、個人、法人、地公体向けなど全ての主体で増加し、52,428 億円と前年比 2,531 億円増加（年率 5.0%）の見通し。
- ・有価証券（末残）は、価格変動リスクの高い有価証券を削減する一方で、国債等の保有を増加させており、15,145 億円と前年比 1,395 億円増加（年率 10.1%）の見通し。

[北洋銀行]

(単位：億円、%)

		平成 21 年 3 月末 (実績)	平成 22 年 3 月末		
			(速報値)	前年比	年率
末 残	資金量	65,651	68,331	2,680	4.0
	預かり資産	6,634	6,918	284	4.2
	貸出金	49,897	52,428	2,531	5.0
	有価証券	13,750	15,145	1,395	10.1

資金量 = 預金 + 譲渡性預金、預かり資産 = 公共債保護預かり + 投資信託 + 個人年金保険（販売累計額）

(3) その他有価証券の評価損益の状況（銀行部門）

- ・その他有価証券の評価損益は、相場回復の影響等により、813 億円と前年比 806 億円増加の見通し。

(単位：億円)

	北洋銀行		
	平成 21 年 3 月期 実績	平成 22 年 3 月期 速報値	前年比
その他有価証券評価損益	7	813	806
株式	157	274	117
債券	26	270	244
その他	175	268	443

<ご参考>

日経平均株価（円）	8,109	11,089	2,980
新発 10 年国債利回り（%）	1.340	1.395	0.055

以上

業績速報につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

実際の業績は、様々な原因によりこれらの業績速報値とは異なる可能性があります。